

令和4年度 地域活性化人材育成事業～SPARC～審査結果

地域活性化人材育成事業～SPARC～委員会における審査の結果、貴大学から申請のありました下記事業計画が採択されました。

大学名	山梨大学	整理番号	1	タイプ	①
事業計画名	知（地）のソーシャルキャピタル～学びの山梨モデル～構築事業				

（採択後公表）

〔採択理由〕

本事業計画は、山梨県の現在の産業構造を踏まえたうえで、同県の未来を見据えて、求められる人材像と身につけるべき資質・能力を明確にし、その育成に資する学びを構築するために、山梨大学と山梨県立大学という設置者の異なる大学同士が協働して教育改革を進め、PBL科目やSTEAM科目の拡充による文理横断型の専門教育を拡充しようとする試みである。

本計画の最大の強みは、両大学が全国初の大学等連携推進法人を形成し、既に実質的かつ充実した教育連携を展開してきた点にある。その連携の深度と準備状況は本事業を確実に推進することを期待させるものである。加えて、山梨大学が事業責任大学でありつつ、山梨県立大学も単なる参加大学ではなく、事業の主體的な担い手として、互いに対等な連携関係が築かれていることも高く評価される。

教育プログラムの構築・展開について、両大学の「地域人材養成センター」が一体となり推進され、世代をつないだ垂直結合型の「学びの山梨モデル」を構築しようとしている点は、今後の地域における学びの在り方の参照されるべき取組となるだろう。地域人材育成プログラムとしてのPENTAS科目も秀逸であり、連携開設科目として共有されていくことへの期待も大きい。また、教学マネジメントの観点からも、育成される人材像とその要件に対して、各学位プログラムにカリキュラムマップが作成されていることも高く評価される。

これらの取組を基盤として、新たな学位プログラムの構築がなされることは、山梨県にとって大きな一歩となるに違いない。

以上のことから、本事業計画は「地域社会と大学間の連携を通じて既存の教育プログラムを再構築し、地域を牽引する人材の育成」という今回の事業趣旨に沿った他地域への波及も期待できる優れた提案となっていると判断できる。